

概要版

資料データ管理状況等に関する調査

Investigation about data management of museum collections

平成27年5月1日



Museum Media Labo.
株式会社 ミュージアムメディア研究所

はじめに

当調査は、収蔵品管理システムの在り方を検討するにあたり、他の博物館での資料管理環境、特に収蔵品管理システムの導入や利用状況について把握したいという意向を持った亀岡市文化資料館からの依頼により、当研究所が実施したものである。

調査方法は、依頼館と性質が近い博物館数館の直接訪問と、全国規模のアンケートを並行する形とした。アンケート調査は、本年2月25日付けで調査票を郵送し、3月16日までファックスにて回答の受付を行った（本報告書では、締め切り後4月14日までに届いた回答も集計に加えてある）。

実施にあたっては、国内各地の博物館を中心に資料（文化資源）を保有しているとみられる3,908の館（機関）をリストアップし、設問は全17問を用意した。送付直後から多数のFAX着信があり、最終的に1,000通を超える回答が寄せられた。

これは、博物館業界では過去に例を見ないほどの成果と言えるはずである。近年では、国立国会図書館が2009年に「国内の文化・学術機関におけるデジタルアーカイブ等の運営に関する調査研究」で同様の手法による調査を行っているが、調査票を回収できた博物館は538館（公共図書館は730館）となっている。

当調査は、回答母数だけで言えば国立国会図書館をも上回る計算となる。年度末の多忙な時期にもかかわらず、回答を返送くださった館の皆様に、この場を借りて謹んで感謝を申し上げたい。

なお、本報告書は、館種別の集計結果について詳述した「詳細版」も作成した。また、それ以外の切り口でのデータ提供も可能であるため、必要に応じてご相談いただきたい。

目次

1.	アンケートの概要	2
(1)	アンケートの目的と背景	2
(2)	送付先と回収率	2
2.	回答館の属性	2
(1)	館種	2
(2)	設置母体	2
(3)	登録・公開承認施設	2
(4)	回答館の資料点数	3
3.	回答内容の詳細	3
(1)	全体の集計	3

1. アンケートの概要

(1) アンケートの目的と背景

全国的な状況・傾向を把握するために、できるだけ多くの館・機関に調査票を送付することにした。アンケートの内容としては、資料目録の現況と、収蔵品管理システムの有無、未導入の場合の理由、導入済みの場合の運用状況などについての設問を用意した。

(2) 送付先と回収率

まず、資料保有機関として、全国の博物館(美術館や文学館を含む)を5,000館近くリストアップした。そのうち観光施設、交流施設と思われる館などを除外し、残った3,908館に調査票を郵送した。回答の回収数は1,052件、回収率は26.9%となった。

送付先数	3,908
回答数	1,052
回答率	26.9%

2. 回答館の属性

(1) 館種

	件数	比率
総合博物館	107館	10.2%
科学博物館	31館	2.9%
歴史博物館	654館	62.2%
美術博物館	187館	17.8%
野外	1館	0.1%
動物園／植物園／動植物園／水族館	1館	0.1%
その他	14館	1.3%
無回答	57館	5.4%
合計	1052館	100.0%

回答が寄せられた館の種別としては歴史博物館が圧倒的に多く、全体の約62%を占めている。文部科学省社会教育調査では58%となっていることから、やや高い比率と言える。なお、回答の中には館種部分が無回答のケースが見られたため、館

名称から性格が容易に推察できる館については、当方にて種別を割り振った(たとえば、〇〇歴史資料館、〇〇美術館といった名称で、館種が無回答であるようなケース)。

また、グラフの作成にあたっては、傾向をより掴みやすくするために、無回答分は除外している。よって、表とグラフではパーセンテージの数値が異なる点にご留意いただきたい。

(2) 設置母体

回答があった館は、市区町村立が7割を占めた。回答の中には、市が設置し財団が運営している場合などで「設置者」を「その他」と回答しているケースが見られるが、これは設問内での定義と説明が不足していたためと解釈すべきであろう。結果として、回答には「ぶれ」が生じていると思われるため、このデータは大きな傾向をとらえるに留めたい。

	件数	比率
国立	5館	0.5%
都道府県立	114館	10.8%
市区町村立	737館	70.1%
大学	35館	3.3%
民間	111館	10.6%
その他	41館	3.9%
無回答	9館	0.9%
合計	1052館	100.0%

(3) 登録・公開承認施設

登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の区分について、「公開承認施設か否か」という設問も設けた。後者については、無回答が3割近くに上った。

	件数	比率
登録博物館	319館	30.3%
博物館相当施設	131館	12.5%
博物館類似施設	479館	45.5%
その他	9館	0.9%
無回答	114館	10.8%
合計	1052館	100.0%

	件数	比率
公開承認施設	276館	26.2%
その他	484館	46.0%
無回答	292館	27.8%
合計	1052館	100.0%

(4) 回答館の資料点数

回答館の資料点数は下記の通りである。各回答の内容を読み込むと、設問の意図に対する解釈にばらつきがあるように感じられた。これは、設問作成時の説明不足と捉えるべきもので、当調査における反省材料のひとつである。

たとえば、館の規模に対し、資料点数が明らかに少ないと思われる回答が見受けられた。これは、点数ではなく「資料群の数」を指しているものと考えられる。また、集計ではできる限り回答の内容を尊重しているが、明らかな記載ミス(回答箇所の誤り)と思われるケースでは、当方にて修正している。

美術博物館の平均値が5万点と結果は明らかに多く感じられるが、ここには純然たる美術作品の点数だけではなく「作家ゆかりの資料」なども大量に含まれていると考えられる。また、館種が不明(無回答)の館の資料点数が極端に多くなっているが、その大半が公文書館や埋蔵文化財センターで、設問内で提示されている館の種類に「自館は該当しない」という解釈がなされた結果、「無回答」になったのであろうと推察できる。

	資料群の数	資料点数	図書点数
総合博物館	4,067	116,835	20,509
科学博物館	11	6,377	2,754
歴史博物館	2,013	61,538	13,138
美術博物館	3,104	57,466	21,087
野外		500	130
動物園／植物園／ 動植物園／水族館		15,000	2,000
その他	51	46,400	8,850
無回答	1,032	1,192,593	17,451
平均	1,713	187,089	10,740

3. 回答内容の詳細

本項では、アンケート結果を数字とグラフで掲載した。グラフでは、全体の傾向を把握するために、無回答分を含めず集計した。また、グラフ中の数字は回答数ではなく、パーセントを表示している。

すべての回答館(1,052 館)の集計結果を掲載したが、母数

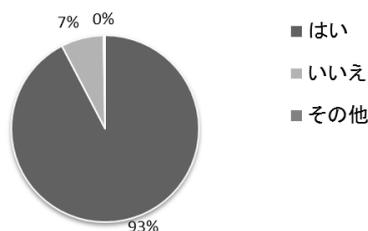
が100以上に達した歴史博物館、美術博物館、総合博物館についても個別に集計を試みたので、併せて掲載する。それ以外の館種及び設置母体別などの集計結果については、巻末にすべてのデータを一覧で掲載したので参照されたい。

なお、こうしたより掘り下げる形の分析は、依頼があれば個別に対応することも可能であることも付記しておく。

(1) 全体の集計

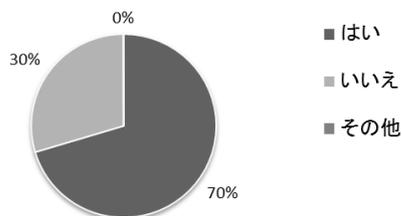
Q1: 資料目録(台帳、カードを含みます)は作成されていますか

はい	968
いいえ	77
その他	3
無回答	5



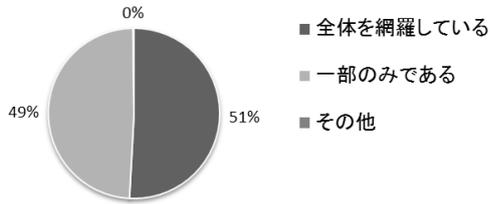
Q2: 図書目録(台帳、カードを含みます)は作成されていますか

はい	725
いいえ	304
その他	1
無回答	23



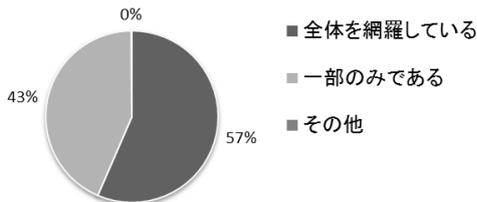
Q3: 資料目録を作成されている場合、目録は資料全体を網羅していますか?

全体を網羅している	490
一部のみである	476
その他	2
無回答	85



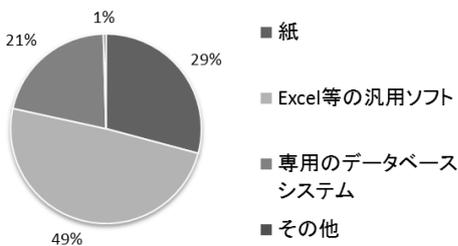
Q4: 図書目録を作成されている場合、目録は資料全体を網羅していますか？

全体を網羅している	421
一部のみである	323
その他	1
無回答	308



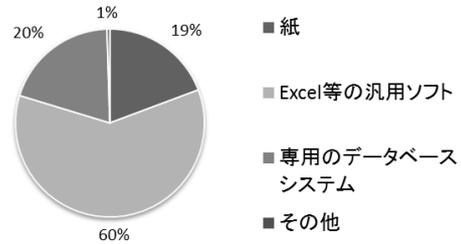
Q5: 資料目録を作成されている場合、目録はどのような形態ですか？

紙	341
Excel等の汎用ソフト	576
専用のデータベースシステム	247
その他	5
無回答	90



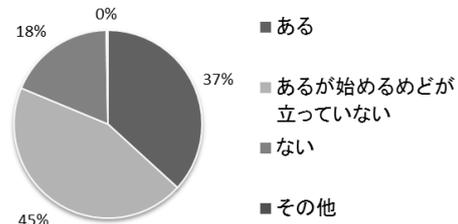
Q6: 図書目録を作成されている場合、目録はどのような形態ですか？

紙	155
Excel等の汎用ソフト	492
専用のデータベースシステム	163
その他	4
無回答	313



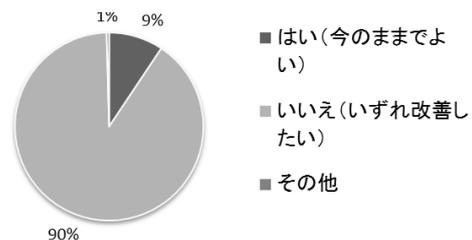
Q7: 資料目録を作成していない、あるいは一部のみ作成の場合、または図書目録を作成していない、あるいは一部のみ作成の場合、今後目録整備を推進される予定はありますか？

ある	256
あるが始めるめどが立っていない	306
ない	126
その他	2
無回答	363



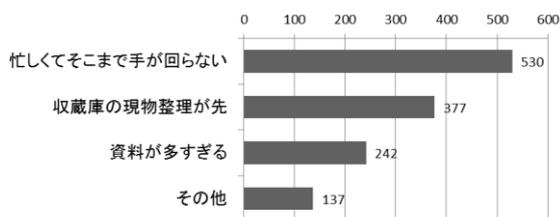
Q8: 資料目録を作成していない、あるいは一部のみ作成の場合、または図書目録を作成していない、あるいは一部のみ作成の場合、今のままでよいとお考えですか？

はい(今のままでよい)	63
いいえ(いずれ改善したい)	608
その他	3
無回答	379



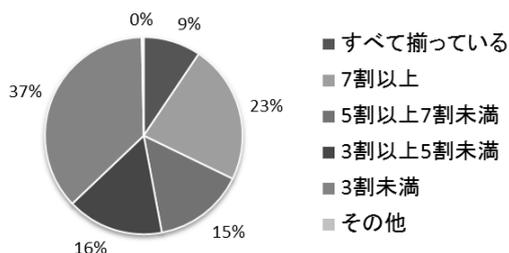
Q9: これから目録作成を進めなければならない、改善しなければならないとお考えの場合、目録整備の障害になっているのはどんなことでしょうか。(複数回答可)

忙しくてそこまで手が回らない	530
収蔵庫の現物整理が先	377
資料が多すぎる	242
その他	137
無回答	277



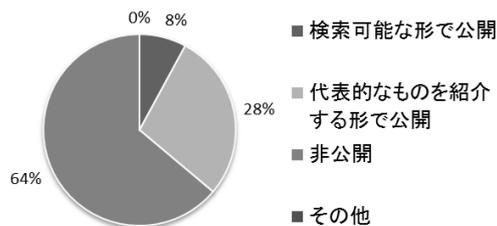
Q10: 資料の画像(写真)はどのくらい整備されていますか? 総資料点数に対する割合でお答えください。

すべて揃っている	90
7割以上	216
5割以上7割未満	142
3割以上5割未満	150
3割未満	352
その他	3
無回答	36



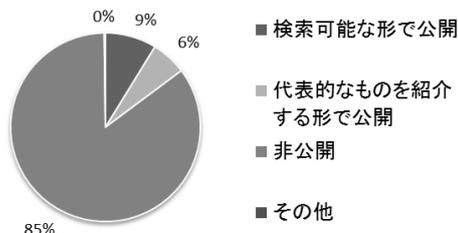
Q11: 資料、図書のデータについて、インターネットで公開していますか?
資料について

検索可能な形で公開	80
代表的なものを紹介する形で公開	291
非公開	661
その他	0
無回答	28



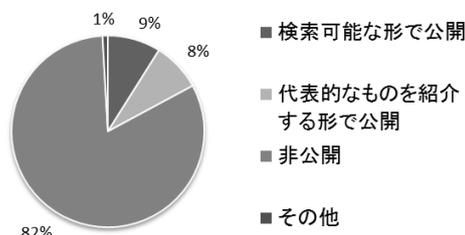
Q11: 資料、図書のデータについて、インターネットで公開していますか?
図書について

検索可能な形で公開	80
代表的なものを紹介する形で公開	56
非公開	793
その他	2
無回答	125



Q12: 資料、図書のデータについて、来館者向けの専用端末で公開していますか?

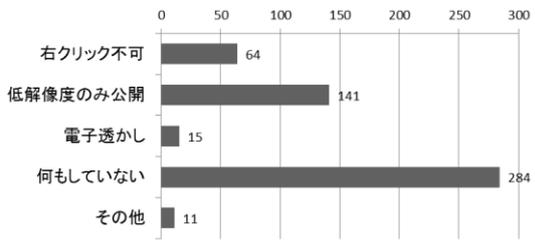
検索可能な形で公開	90
代表的なものを紹介する形で公開	83
非公開	830
その他	9
無回答	46



Q13: インターネットで資料の画像を公開している場合、不正利用などへの対応はどうしていますか?(複数回答可)

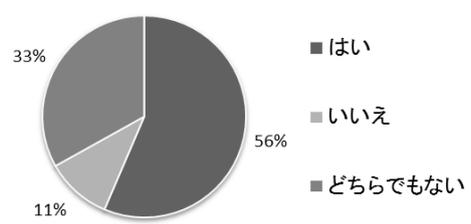
右クリック不可	65
低解像度のみ公開	144

電子透かし	15
何もしていない	287
その他	11
無回答	560



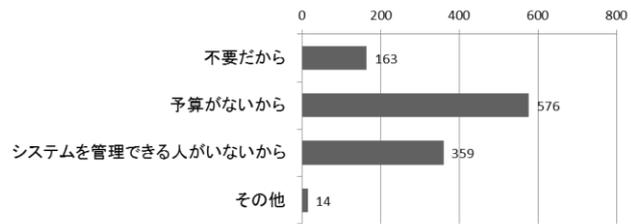
Q14: 資料、図書の目録の管理および外部への公開について、専用のデータベースシステムがあるとよいとお考えですか？

はい	571
いいえ	106
どちらでもない	335
その他	0
無回答	45



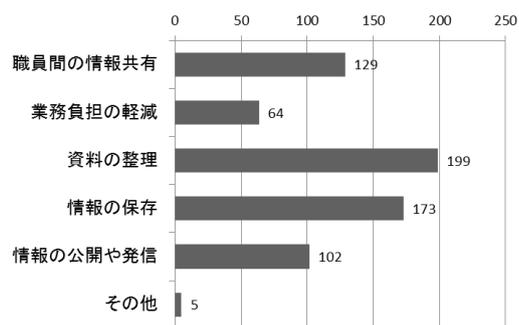
Q15: 専用データベースシステムを導入されていない館にお訊ねします。導入しない理由は何ですか？(複数回答可)

不要だから	163
予算がないから	576
システムを管理できる人がいないから	359
その他	14
無回答	286



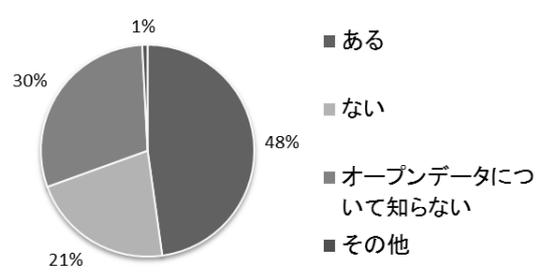
Q16: 専用データベースシステムを導入されている館にお訊ねします。導入効果があったのはどういう点ですか？(複数回答可)

職員間の情報共有	129
業務負担の軽減	64
資料の整理	199
情報の保存	173
情報の公開や発信	102
その他	5
無回答	795



Q17: オープンデータについて、将来の情報発信手段として関心はありますか？

ある	479
ない	217
オープンデータについて知らない	298
その他	8
無回答	59





Museum Media Labo.